6 令和7年度 団体

iwakura-shi siminkatsudou-joseikin
Reiwa 7nendo katsuyou-jisseki-houkokusyu
6no dantai-ga samazamana-jigyou-wo okonatta kirokudesu.

岩倉市 市民活動助成金

活用実績報告集

－6団体が行った事業の記録集－

令和7年 4月1日 ～ 令和8年 3月31日

通年実施

市民提案・公益的事業コース

■岩倉ボランティアサークル



■東海つばめ学習会 岩倉教室



■まちづくり百貨店



■ミズベリング岩倉・五条川



行政提案・協働事業コース

■社会福祉法人 曽野福祉会



■地域のしあわせを考える会



目　　次

岩倉市市民活動助成金とは　・・・1

報 告

《市民提案・公益的事業コース》

ワクワク！栄養満点くっきんぐ！　岩倉ボランティアサークル　・・・2

経済的に厳しい家庭の子どもたちに学習支援活動を行う事業

東海つばめ学習会　岩倉教室　・・・3

オープンファームを通じた農業者と市民の交流　まちづくり百貨店　・・・4

五条川で SUP（サップ）を広げよう！　ミズベリング岩倉・五条川　・・・5

《行政提案・協働事業コース》

にこにこひろば～Enjoy こそだて！！　社会福祉法人 曽野福祉会　・・・6

持続可能な町内会（行政区）をはぐくむワークショップ事業

地域のしあわせを考える会　・・・7

令和 8 年度市民活動助成金活用団体及び活動内容紹介　・・・8

令和 9 年度市民活動助成金の応募から実績報告書提出までの流れ　・・・9

市民活動助成金についての問い合わせ先

岩倉市市民協働部協働安全課市民協働グループ（市役所 6 階）

Tel：(0587) 38-5803

e-mail：kyoudouanzen@city.iwakura.lg.jp

市民活動助成金についての相談窓口

岩倉市市民活動支援センター　岩倉市昭和町二丁目 17 番地　市民プラザ内

Tel：(0587) 37-0257

e-mail：info@iwakura-plaza.jp

岩倉市市民活動助成金とは

地域が抱える諸課題の解決を図り、市民の福祉向上やまちづくりに貢献するなど、市民活動団体が主体的に取り組むモデル的な事業に対して財政支援を行い、団体活動の活性化や市民活動の拡充を図るものです。かつ、各団体の特性を生かして協働するマルチパートナーシップの取組の促進を図っていく制度です。

応募された事業については、目的や事業内容などを公開の場で発表する「企画提案発表会」を経て、助成する団体と助成金額を決定します。

※市内に拠点のある法人格を有する事業者も応募できるコースもあります。

助成の種類及び助成額

① **《立ち上がり支援コース》**

設立から１年以内の団体の活動の基盤づくりに助成します。

※令和７年１２月１日から随時申請を受付できるようになりました。

助成回数：１団体 １ 回　**補助金額：**限度額 ２ 万円　**補助率：**100%以内

② **《はじめの一歩コース》**

設立から３年以内の団体が行う公益性を有する事業（３年以上継続予定）に助成します。

助成回数：１団体 １ 回　**補助金額：**限度額５万円　**補助率：**９０%以内

③ **《市民提案・公益的事業コース》**

団体が解決を目指す地域の公共的課題について、自らテーマを設定し提案する公益性を有する事業に助成します。

助成回数：同一事業 最大３回　**補助金額：**限度額 10 万円

補助率　：５０%以内

④ **《行政提案・協働事業コース》**

市があらかじめ設定したテーマ（行政課題）に対して、団体が自らの特性を生かして提案する行政と協働で取り組む事業に助成します。

助成回数：同一事業 連続２回　**補助金額：**限度額 30 万円

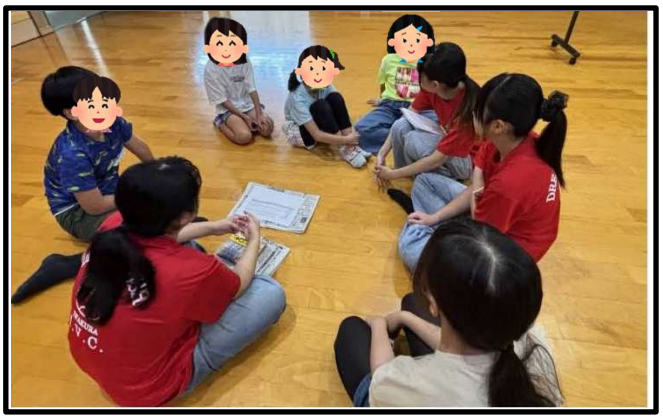
補助率　：100%以内

※ 他の団体と協働して行う場合には、②,③コースの補助率を１０%加算します。

❖ワクワク！栄養満点くっきんぐ！

岩倉ボランティアサークル

市民提案・公益的事業
コース　　１回目





事業総額 71,346 円　対象経費 71,346 円　助成額 28,000 円

・主に食糧費、人件費、郵便代、保険料として利用

◆目　的

・栄養バランスの取れた献立や創作料理を考え、調理し食べることで食への関心を高める。
・食への関心や理解を深め、食育の大切さを広めていき、健全育成も目指す事ができる。

◆事業報告

【内容】
・令和７年９月２８日（日）、地域交流センターみどりの家、参加者　１０人
　栄養素についての勉強を行い、各班で献立を決め、実際に調理・食事を行った。
・令和８年３月１１日（水）、第三児童館
　事業活動に関する振り返りを行い、次年度に向けての打合せを行った。
【成果】
・栄養素に関する学習やクイズ、レクリエーションを通して、基礎知識の習得につながった。
・どの食材を選べば必要な栄養素を満たせるかを積極的に話し合う姿が見られた。
・料理を実食する場面では、「自分たちで考えたからおいしい」「家でも作ったみたい」との声もあり、家庭での会話や実践につながり、食材選びや栄養バランスについて主体的に考える姿勢が見られたことから、今後の望ましい食習慣の形成にも寄与する事業となった。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】
・参加申込者数が想定より少なかった。その要因としては、チラシ配布から申込締切までの期間が短く、参加を検討する時間が十分に確保できなかった可能性が考えられる。
【改善等】
・広報期間の確保と周知方法の工夫が必要。
・チラシ配布だけでなく事前の SNS の配信を活用し、より多くの対象者に情報を届ける工夫も有効である。参加内容や魅力が伝わるようチラシに参加するメリットを明確に示す。

❖経済的に厳しい家庭の子どもたちに学習支援活動を行う事業

東海つばめ学習会 岩倉教室

市民提案・公益的事業
コース　　２回目





事業総額 35,276 円　対象経費 35,276 円　助成額　17,000 円

・主に会場使用料、印刷製本費として利用

◆目　的

・家計の苦しい家庭には通塾費用は大きな負担で、生徒の可能性を狭めることは社会の損失。
・自費参加のボランティア講師のみなさまの支援が、生徒の社会貢献への関心につながる。

◆事業報告

【内容】
・ボランティアによる小中学生（小学５年生～中学３年生）向けの勉強会。
・実施日：令和７年４月６日（日）～令和８年３月 22 日（日）毎週日曜日
　　但し、5/4、8/10 を除く
・場　所：市民プラザ　会議室または、生涯学習センター　会議室
・参加者：5～15 人〔講師含む〕

【成果】
・目標の 48 回（毎月４回×12 ヶ月）の開催を達成。
・高校受験を目標とする市内中学校に通う中学３年生の生徒の増加（３人）
　なお、彼らは無事に高校合格しました。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】
・英語に苦手意識を持つ生徒が多いため、外国人ボランティアとの英会話を開催（2 回）。英語には触れたものの、継続的な活動とできず、また苦手意識の改善までには至らなかった。
・参加する生徒と講師との人数バランス（講師が少ない）の不均衡が稀に発生。

【改善等】
・ルールを覚える英語ではなく、英語話者の考え方を知って英語を身近に捉えるよう取り組む。
・継続的に参加できる講師を募集することと、近隣の当会教室の講師にも協力いただき、生徒と講師のバランスが適切になるように運営する。

❖オープンファームを通じた農業者と市民の交流

まちづくり百貨店

市民提案・公益的事業
コース　　２回目





事業総額 37,156 円　対象経費 37,156 円（うち事業収入 37,300 円）　助成額　０円

・主に食糧費、人件費として利用

◆目　的

・空き家処分や耕作放棄地処分は、細分宅地となり、農地や景観を変化させる危険性がある。
・農地の役割認識を拡大させ、地域環境に関して新たな合意（コンセンサス）を形成する。

◆事業報告

【内容】
・令和７年６月 14 日（土）・21 日（土）　近郊農園　とうもろこし収穫会
　参加 21 人（6/14）・52 人（6/21）
・令和７年８月 30 日（土）　川井町内　Neva めし@川井畑　参加 19 人
・令和７年 11 月 12 日（水）SNS 情報発信強化を企画 Facebook やホームページの制作。
・令和７年 11 月 22 日（土）川井町内　芋フェス@SEAFARM　参加 16 人
【成果】
・農業収穫イベントはどれも盛況であり、継続的に参加する市民がいることが判った。
・イベント実績のノウハウは蓄積できている。
・助成額０円は、参加費で賄えたため。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】
・農業体験や農業者との交流イベントの企画・手配・運営について一定の成果が上がっているが、イベント情報を SNS や HP で適時広報するための原稿作りに苦労する面があった。
・Facebook ページや HP の設定・制作は実施したが、継続的に情報を発信する体制は不十分である。
【改善等】
・Facebook ページや HP の設定・制作については、クリエーターとしてのスキルやスケジュール感を身に着ける必要がある。

❖五条川で SUP（サップ）を広げよう！

ミズベリング岩倉・五条川

市民提案・公益的事業
コース　　３回目





事業総額 21,704 円　対象経費 21,704 円（うち事業収入 6,500 円）助成額 7,000 円

・主に印刷製本費、保険料、使用料として利用

◆目　的

・「かわまちづくり」を目指して、市民の方々が「かわ」（五条川）と触れ合う機会を多くするため、SUP を推進してきた。
・五条川の桜の時期に、河川内から桜花を観賞しながらの SUP によるパレードを実施した。

◆事業報告

【内容】
・令和８年３月 28 日（土）　五条川下流部（待合橋周辺～名鉄鉄橋）　参加人数 15 人
・五条川河道内において SUP による水面利用を実施した。
・この催しではポスターや SNS の発信により応募のあった参加者と五条川の出合橋から名鉄鉄橋までを SUP によりパレードを実施した。

【成果】
・五条川の新たな魅力を発信し、シティプロモートを推進することを継続的に取り組んでいる。
・マスメディアの注目を集めており、本年もテレビ愛知のバラエティ番組（3/28 放送）において「桜 SUP」として紹介された。
「五条川 SUP」は注目度を増していると思われる。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】
・継続的活動が不可欠であるため、固定メンバーの確保及び新たな仲間集めに苦慮した。
・水面利用であるため安全第一で、常に KY（危険予知）活動を意識する、事故防止に努めた。
・「五条川 SUP」を通じて、岩倉市のシティプロモートをより具体的にどのように進めるか。

【改善等】
・次年度は「岩倉の水辺を守る会」との連携をすることで話を進めている。
・また、市内の他団体とも積極的に交流を進めていくことが必要。

❖にこにこひろば ～Enjoy こそだて！！～

社会福祉法人 曽野福祉会

行政提案・協働事業
コース　　１回目





事業総額 30,921 円　対象経費 30,921 円　助成額　30,000 円

・主に講師料、交通費として利用

◆目　的

・子育て支援サービス等を十分に使えず孤立し、孤育てになる家庭がある。
・外国にルーツがある家庭を対象に、正確な情報を届ける場所・仕組みや環境を作る必要がある。
・すべての親子に幸せな子育てを（あたたかいまち岩倉）。

◆事業報告

【内容】
・毎月第３金曜日　10:00～11:30　こどもの森保育園で定期開催。
・音楽あそび、季節あそび、製作あそびを月ごとに企画。
・室内におもちゃや絵本を用意して、自由にあそべるようにした。
・5～8 月、11～12 月には、1～2 家庭が参加。
・出張にこにこひろばとして、東新町公会堂で開催。９月 10 家庭、３月３家庭が参加。
【成果】
・岩倉団地自治会との意見交換、連携ができるようになった。
・ベトナム人通訳者との新たなつながりができた。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】
・情報の周知
・どこまでの多言語に対応、サポートしていくか。

【改善等】
・ベトナム人通訳さんによる、翻訳の支援。
・各ルーツのコミュニティへの働きかけを行う。

❖持続可能な町内会（行政区）をはぐくむワークショップ事業

地域のしあわせを考える会

行政提案・協働事業
コース　２回目





事業総額 294,863 円　対象経費 294,863 円　助成額 294,000 円

・主に人件費、印刷製本費、謝礼として利用

◆目　的

・町内会関係者が持続可能な地域に向けた問題意識を共有。日常的に情報交換や相談ができる、ゆるやかなネットワークの構築。柔軟に対応した住民主体の新しい取組が生まれ始めている。

◆事業報告

【内容】『持続可能な町内会について学び合う意見交換会』４回開催
・令和７年６月 15 日（日）「学ぶ・つながる」 参加 40 人　生涯学習センター
・令和７年８月 24 日（日）「町内会を知ってもらうための情報発信」 参加 25 人　〃
・令和７年 11 月３日（月･祝）「町内会と事業所等の連携を学ぶ」 参加 20 人 みどりの家
・令和８年２月 21 日（土）「町内会と学校の連携について」 参加 26 人　生涯学習センター

【成果】
・参加者は町内会役員や関係者、一般市民など　のべ 111 人
・町内会の現状や課題、町内会未加入者向けの効果的なパンフレット作成、事業所や小中学校等と連携した。今後の人材確保等の方策について協議した。
・今後の継続的な活動に向けて、関係者とのネットワークとして貴重なつながりを得た。

◆課題等

【苦労・工夫・課題】
・新たな改善方策のアイデアは共有できたものの、実践に至るまでの仕組みや体制づくりまで、踏み込むことができなかった。
・次年度の活動や組織運営に反映することの難しさが課題。
【改善等】
・今後は未来寄合などの市の取り組みと連携を図りながら、より具体的・実践的な取り組みを深めていく。
・現場の知恵や経験を蓄積し発信するプラットフォームとしていく。

令和８年度　市民活動助成金活動団体及び活動内容紹介

番号	助成回数	団体名	事業名	活動内容（予定）
◆立ち上がり支援コース（団体の活動の基盤づくりに必要な経費の支援、設立から１年以内の団体）				
1	—	ごきげんクルー	お母さん自身が満たされるためのイベント「ごきげん会」の開催	・軽運動や子育てのミニ講座、ワークショップなどを実施 ・子育てに楽しく向き合い、支え合い・助け合いの輪が広がっていくことを目指す。
2	—	にじいろ LAB	多世代交流の場 にじいろLAB (令和8年4月30日付追加)	・毎月第３金曜日（主に午後７時～８時 30 分） ・主に生涯学習センター ・こどもから大人までが安心して集い参加者同士がつながることができる居場所づくりを目的とする。 ・カードゲームやテーマトーク、ワークシートを用いた交流会を開催する。
◆市民提案・公益的事業コース （団体が解決を目指す地域の公共的課題について、自らテーマを設定し提案する公益性を有する事業）				
2	3/3	東海つばめ学習会 岩倉教室	経済的に厳しい家庭のこどもたちに学習支援活動を行う事業	・小中学生を対象とした個別指導の無料勉強会を開催 ・東海つばめ学習会の他の教室（全 27 教室）の生徒が参加する合同勉強会（年 2 回）や、専門講師による中学英語の基礎講座を行う。 生徒とボランティア講師を募集しています。※講師の資格・経験不問（学生可） ●問合先：t.iwata @ tokai-tsubame.com
◆行政提案・協働事業コース（市が解決を目指す行政課題について、あらかじめ設定したテーマに基づき、団体が自らの特性を生かして行政と協働で取り組む事業）				
3	1/2	岩倉市 国際交流協会 みらいクラス	外国籍児童・生徒の学習支援、進学サポート事業	・学校の宿題をメインに、各自勉強したい教科を勉強する。 ・既卒生には、高校進学のためのサポートをする。 ・各学校の日本語教師と連絡を取りながら、一人ひとりを大切にフォローしていく。 生徒とボランティアスタッフを募集しています。※スタッフの資格・経験不問 ●問合先：iies-event@lww.ne.jp
4	2/2	社会福祉法人 曽野福祉会	にこにこ広場 Enjoy こそだて！！	・外国にルーツのある家庭を対象とした子育てサロンを開催し、子育てに関する情報提供や参加者同士の交流を行う。 ・通訳や外国で子育てを経験した当事者のボランティアを配置する。 ・広場に来た保護者に、子育てに関する手続き等のフォローアップができるように事業構築を行う。

令和９年度市民活動助成金の
応募から実績報告書提出までの流れ

《はじめの一歩、市民提案・公益的事業、行政提案・協働事業、各コース》

令和８年 10 月上旬	：市民活動助成金の周知啓発
11 月中旬	：市民活動助成金説明会＆個別相談会
12 月上旬	：申請書類受付**開始**
12 月中旬	：申請書類受付**締切**
令和９年　３月上旬	：企画提案発表会、審査会
３月下旬	：内定通知
４月上旬	：決定通知
４月上旬	：助成金事業実施
事業終了後 30 日以内	：実績報告書の提出

《立ち上がり支援コース》

随時募集	：随時申請書類受付
	：決定通知
	：助成金事業実施
事業終了後 30 日以内	：実績報告書の提出

団体のイベントなどをホームページや SNS でもご覧いただけます

ホームページ

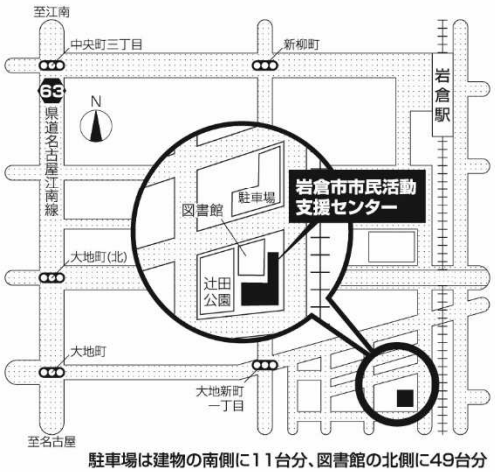
メルマガかわらばん

公式 LINE

Instagram

つなぐ 支える 育てる
市民活動支援センター

岩倉市市民活動支援センター



駐車場は建物の南側に11台分、図書館の北側に49台分

■住 所／〒482-0011 岩倉市昭和町二丁目17番地
■TEL・FAX／(0587)37-0257
■開館時間／9:00～21:30 ■休館日／年末年始
■メールアドレス info@iwakura-plaza.jp
■ホームページ http://www.iwakura-plaza.jp/shimin/

岩倉市市民活動支援センター で検索してください

メールマガジン登録はコチラから iwakura_ad@lww.ne.jp

市民活動支援センター

各種SNSで情報発信してます

岩倉市市民活動支援センター
iwakura_csc
@IwakuraCSC ※旧ツイッター
@ysw7371u